

す・とうぶだより

2020-06月号

田 植えをしてきました！

ついこの間まで寒いと思っていたら、いきなり6〜7月の気温。春がなくなってきた気がします。4月下旬から5月上旬にかけては、えごまの苗作りや土壌作りをしつつ、田んぼ関連の作業も目白押しでした。

師匠の田んぼをお借りして米作りもさせていただいています。えごまと違ってほとんど機械化されているのであまり加藤の一番はないのですが・・・。

「いのちの壺」と呼ばれるお米で、白飯で食べてももちろんのこと、酢飯にするとネタいらすの美味しさです。

手巻き寿司をしたとき、途中から「もう中身はいいや」と酢飯に海苔を巻いて、わさびと醤油だけでいただいていた。思い出しただけでよだれが・・・(笑)。えごまともども、秋の収穫が今から待ち遠しいです。(加藤)



師匠からお借りしている田んぼ



真ん中の少し背の高いのが大麦の穂

黄砂で目や鼻がやられて辛い時期になりました。

狭川でお借りしている畑で、大麦を育てています。

獣害対策として、畑を柵で囲っています。どうしても鹿が入ってきます。

麦の芽が長くなり、麦踏みをした2週間ほど後に、芽が食べられてしまったときは、とてもショックでした。

しかし！
穂が出てきました！

これは嬉しいです。食べられた時には、もう出てこないと諦めていました。

あとは黄色くなるのを待ち、夏頃の収穫を楽しみにしております。(青野)

りんごの花が満開！

5月上旬に、田原の窪田りんご園さんから、「りんごの花が咲いているよ」との連絡をいただき、見に行ってきました。

小高い丘の上のりんご畑の中に白く可愛い花がたくさん咲いています。

例年であれば、4月下旬に、「りんご花まつり」のイベントを開催されていますが、今年は新型コロナウイルス感染症防止のために、中止となりました。

人の動きは制限されていても、自然の営みは変わらないことを感じました。

りんごの作業は、この後、摘花・袋掛け・袋外しを経て、秋には丸々と実ります。

今は感染拡大防止のため、外出はできる限り控えています。少しでも早く日常生活が戻ることを願っています。(松村)



ピンク色のつぼみ、真っ白い花びら、緑の葉のコントラストが美しい。

大 麦の穂が出てきました。